



敬学会賞第四十四回入選作品

方言の研究



岩淵 賞

敬学会研究

4の1

小川智也

方言の研究

目次～

山形県の方言言周べり 5ページ～

各地域のむかし話しの方言 22ページ～
(チーフ)

地方によってどのようにちがうか 39ページ～

思ったこと 41ページ



方言の研究をするようになったわけは

日本でどのように方言がつかわれるか

方言と共通言語のちがいかたや

方言の意味やその地方でどのようにちがうか

方言をいつどのようにして使われるかが

しりたくてこの研究を始めるようにした。

山形県(方言)をわたくし

しりたくて

研究の計画

6月～山形の方言調べ(おきま)

7月～各地域の方言の話をテープにする

8月～夏休み～地方によってどのようにちがうか

8月～夏休み～

9月22日おかりの先生に提出

10月3日～発表者決定

10月29日～第44日の発表会

11月、日～



(1) 山形県の方言 (おもしろそうだけ)

あ^アの部... あ 意味か、は(庄内、最上、村山、おきたま)

ああ 意味はい(庄内)

あいの風 意味北風(庄内)

あがつとくやい 意味食べてください(おきたま)

あぐで 意味悪口(庄内、最上)

あめがる 意味甘える(庄内)

あんこふく 意味上を向く(村山)

あんはれる 意味泣く(村山)

い^イの部... いがった 意味良かった(村山、おきたま)

いぎ 意味雪(村山)

いぎやった 意味出会った(村山)

いぐはげ 意味行きますから(庄内、最上、村山)

いさしたか 意味みましたか(庄内、村山)

いし 意味君(最上)



いしな 意味石 (庄内)

いす 意味お前 (庄内、最上)

いっきび 意味いゝ気味 (庄内、最上、おきたま、米沢)

いっべ 意味たくさん、(いっぱい) (おきたま、米沢)

いばいむす 意味かまきり (村山)

いびつ 意味強情 (村山、おきたま、米沢)

いまと 意味もった (最上、村山、おきたま、米沢)

いやちころ 意味たんさん (おきたま、米沢)

うの部 うがえ 意味：(地方、おきたま) (最上、村山、米沢)

うぐ 行く (村山)

うさ お前 (最上、村山)

うだい きたない (おきたま、米沢)

うづげる うざげる (村山、おきたま、米沢)

うつじや 売れた (庄内、村山、米沢)

うぬ お前 (村山)

方言 意味 地方
うんこ 大便 (村山、おきたま)

うんばくない うめない (村山)

えの部 え 家 (庄内)

えがべ 良いだろ (最上、村山、おきたま)

えき 生え (庄内)

えきでえ 行きたい (庄内、村山、おきたま)

えきなり 強く (庄内、最上、村山、おきたま)

えげうそこえ うそをついて (庄内)

おの部 おしいたい おりで下い (おきたま)

おかす 育てる (村山、おきたま)

おかすがな 変な (村山、おきたま)

おかすちあ おかしいね (庄内、最上)

おかあちゃ お母さん (村山、おきたま)

おかなえ おそろしい (庄内、最上、村山、おきたま)

おかあはん 母さん (村山)

方言 意味 地方
おがる 生長する (庄内最上 村山 おきたま)

おぐえす 売ってください (おきたま)

おぐやい ください (村山 おきたま)

おごさま かいこ (庄内最上 村山 おきたま)

おっさん おしょうさん (村山)

おじげ みせしる (庄内 村山 おきたま)

かの おたんちゃん ばか (村山)

かの部... かいず これ (村山 おきたま)

かいうこ おたまじゃくし (村山 おきたま)

かしえれ 食はせよ (庄内)

かっこ けた (庄内)

かちゃく いっかく (村山 おきたま)

かてしな 平気だ (最上 村山 おきたま)

かおる よわる (庄内 村山 最上 おきたま)

がんす ございます (庄内)

方言 意味 地方
きの部... さかす いたすらもの (村山 おきたま)

きしえる 着せる (村山)

きたきる 切る (庄内 村山 おきたま)

おきのきき じゃんけんぽん (村山)

あつあか 急な坂 (村山)

きびわれ 気味わるい (庄内 最上 村山 おきたま)

きやらんど おたまじゃくし (庄内最上)

きょうすず 教室 (庄内)

きんま 短気 (おきたま)

くの部... 行く (村山 おきたま)

たんぼの たんぼの花 (村山)

くだばる 死ぬ (庄内 村山 おきたま)

くつがす くすぶる (おきたま)

ぐにゃぐにゃ たくさん (村山)

くほい 黒い (おきたま)

方言 意味 地方
くらな 食べるな (村山)

くんね くれな (庄内、おきたま)

けの部... けあが これ (最上、村山、おきたま)

けえる 帰る (庄内、おきたま)

けげる 聞える (庄内)

げさめる がつかりする (庄内)

けそつし 平気 (最上、村山、おきたま)

けつた ころんだ (庄内)

けばら 毛虫 (庄内)

げんはぢぢ 弟 (庄内)

この部... ぶあんすね ぶさいまけん (庄内)

ぶさぐ おこる (村山、おきたま)

こしゃえる 作る (最上、村山、おきたま)

ごしえも じゃかいも (最上、村山、おきたま)

こったが さんなに (庄内)

方言 意味 地方
こちよがす くすぐる (おきたま)

こっけえすたま たくさん (最上、おきたま)

こはくさい ほかぬい (村山)

さの部... さあ 父親 (おきたま)

さがこ 小川 (最上)

ささき はしゃぐこ (村山)

さぶい 寒い (庄内)

さむれえ さむらい (庄内)

さんかえろ ばかやろう (村山、おきたま)

しの部... しえわすえ うるさい (村山、おきたま)

しえんえ - 先生 (庄内、最上、村山、おきたま)

しぎだれ 弱虫 (おきたま)

死が 死ぬ (おきたま)

しこたま たくさん (村山、おきたま)

ししゃね 知れない (最上、村山、おきたま)

方言 意味 地方
しっこ 小便 (庄内、村山、おきたま)

しっぱたく 打つ (最上、村山、おきたま)

すの部 すこたま たくさん (庄内、最上、村山、おきたま)

すくう くらう (最上)

すっさ お前 (最上)

すっぺり のこす (庄内、最上、村山)

すねは しゃい (最上、村山、おきたま)

すまた すんだ (村山)

すろい しゃいさい (村山、おきたま)

すんねせ 知れない (村山、おきたま)

せの部 せいほたい たくさん (最上)

せいから これから (庄内)

せづ んいつ (最上)

せつけもの んなな (庄内、最上、村山)

せなぎ 下水 (庄内)

方言 意味 地方
せいしけい うるさい (最上、おきたま)

せんつ 大便所 (最上、村山、おきたま)

その部 そえたは きれなら (庄内)

そじた しっぱいた (庄内)

そしたば すると (庄内、おきたま)

そいえる あまえる (庄内)

それほか それしか (おきたま)

そればす そればかり (村山、おきたま)

そんぴん ひねくれ者 (おきたま)

たの部 たあさ お母さん (おきたま)

だいです 大根おろし (最上、村山、おきたま)

だいず 大七 (最上、村山、おきたま)

だいで 台所 (最上、おきたま)

たかぶ 持つ (庄内、最上、村山、おきたま)

ただちね だらしない (庄内、最上)

方言	意味	地方
だっうり	たしさん	(庄内、最上、村山、おきたま)

ちの部 ちいと 少し (おきたま)

ちゅちえ 小さい (最上、村山)

ちって ちよって (村山、おきたま)

ちぢまる ちぢまる (庄内、最上、おきたま)

ちみだい つめたい (おきたま)

ちゃのめ 茶の間 (庄内)

つの部 ついさい 小さい (庄内)

づう よ (最上、村山)

つとも 少も (村山)

つつま 地面 (村山、おきたま)

づうばい 太い (村山)

つむだえ つめたい (村山、おきたま)

づんづあん 祖父 (最上、村山)

ての部 ていこん だいつん (庄内)

方言	意味	地方
でえど	大工	(庄内、最上)

でえと 台所 (庄内)

でづま てじな (庄内、村山、おきたま)

でっすり たくさん (村山)

との部 とうちゃん お父さん (村山、おきたま)

とがひ 遠い (最上、村山)

とがえな とんな (最上、おきたま)

とげえ 〃 (庄内、最上、おきたま)

とだたえ とんなうらに (村山)

とっさり たくさん (庄内、村山)

とっちゃ どちらに (庄内、最上、村山、おきたま)

とんでもない とんでもない (庄内、おきたま)

なの部 なえ ね (村山、おきたま)

なえだ 何ですか (庄内、村山)

なえだらう なんとまあ (最上)

方言
なえて意味
何で地方
(村山、おきたま)

ながす

谷所の流し

(最上、村山、おきたま)

ながびろい

細長い

(村山、おきたま)

なっす

こいさつまね

(村山)

にの部 にげえ

にかい

(庄内、おきたま)

にやあにやあ

ねこ

(庄内、村山、おきたま)

にやえい

なひ

(村山、おきたま)

におよ

文字

(村山)

たんぎやか

にぎやか

(最上、村山、おきたま)

ぬの部 ぬぎ

木

(村山)

ぬ

ぬつ

暑い

(最上、おきたま)

ぬびたれ

弱虫

(庄内、最上、村山、おきたま)

ぬる

垂る

("...) "...)

ぬるこえ

ぬるい

("...) "...)

ねの部

わっから

かしも

("...) "...)

方言

ねづくれる

意味

ひねくれる

地方

(最上、村山、おきたま)

ねっこ

根

(庄内、最上、村山、おきたま)

ねっぴり

けち

(最上、村山)

ね井

出た

(村山)

ねんずん

にんじん

(庄内、最上、村山)

のの部

のつかがる

よりかかる

(最上、村山、おきたま)

のっま

背高いこと

(庄内、村山、おきたま)

のま

ぬま

(庄内、最上、村山、おきたま)

のや

ね

(庄内)

のろまこい

ぬるい、い

はの部

は

おはあさん (村山)

はん

早く

(庄内、村山、おきたま)

はえる

あまえる (村山、おきたま)

ほかす

ばかり

("...)

はくる

しばいする

("...)

はっこ

ニン

("...)

市言 方言
 乙の部 ひいげ ひい (おきたま)

ひいれ ひい (庄内)

ひじた ひじかばる (い)

ひした ひらしない (最上)

ひくらかへる ひくくりがえる (村山、おきたま)

ひくおこい ひらたい (最上、村山、おきたま)

ひくおたく 打つ (庄内、最上、村山、おきたま)

丙の部 ひえたい ひたい (おきたま)

ひかしられ ひなさい (最上、村山)

ひかす 赤飯 (最上、村山、おきたま)

ひしげ ひしき (庄内)

ひたぐ 打つ (村山)

ひくけた 転んだ (最上)

丁の部 ひえと 平気 (おきたま)

ひえち 着物 (庄内)

方言 意味 地方
 へつたひ ひらたい (村山)

へづない ましい (最上、村山、おきたま)

へなが せなが (庄内、最上)

へほで たぐん (最上、村山)

へんつ 便所 (最上、村山、おきたま)

へんづつ 先日 (村山)

へんてえ 先生 (最上、村山、おきたま)

己の部 ひいづ それ (い い)

ひかえる たおれる (い い)

ひぞえ えんた (最上)

ひそこえ 細い (最上、村山、おきたま)

ひたげ えんたになさん (庄内)

ひても どうしても (庄内、最上、村山)

庚の部 まえと もって (村山、おきたま)

まちえ 待つ (庄内、村山)

方言 まづ 意味 まづり 地方 (村山)

まぢゃ おぢさん (おきたま)

まゝと もつ (庄内、村山、おきたま)

まぢだ め (村山)

みの部 みぎり 右 (庄内)

みさ、さえ ごらんや (村山)

みさん 見るな (おきたま)

みじゃ 谷所 (庄内)

みずめ みじめ (最上、村山、おきたま)

むの部 むうじ 少しも (おきたま)

むくれる ひっくり返る (村山、おきたま)

むすなご 繕う (庄内、最上、村山、おきたま)

むぢる 曲る (最上、おきたま、)

むま 父 (庄内)

めの部 めぐせえ みにくい (庄内、おきたま)

方言 めづかる 意味 かわいかる 地方 (庄内、村山、おきたま)

めしえる 見せる (最上、村山、おきたま)

めぢゃこえ 小さい (いゝゝゝ)

めつたえ めつたに (庄内、最上、村山、おきたま)

めでてえ めでたい (庄内)

もの部 もうこ ばけもの (庄内、最上)

もぎ むぎ (庄内)

もしえ おもしろい (庄内、最上)

もだら たわし (最上、おきたま)

もじくたねえ わからない (庄内)

もじゃける もぐる (おきたま)

もかえる たおれる (最上、村山、おきたま)

もったら 思ったら (村山)

もは もう (いゝゝゝ)

もんじゃな、 つまらない (最上)

方言	意味	地方
ヤの部 やがしえ	やかみい	(おきたま)
やぎみし	おむすび	(最上おきたま)
やぐと	うそ	(村山、おきたま)
やぐとえ	わざと	(最上)
やし	しいかい者	(庄内)
やすい	たやすい	(最上、村山、おきたま)
やところあげ	赤とんぼ	(村山)
やませる	たたく	(村山)
やんだ	いやだ	(庄内、最上、村山、おきたま)
ユの部 ゆうれん	ゆうれい	(最上、村山)
ゆえ	家	(村山)
ゆえがづ	よろしいだろう	(〃)
ゆがる	行きません	(村山、おきたま)
ゆっけ	言っていました。	(おきたま)
ゆみ	ゆめ	(村山)

方言	意味	地方
ヨの部 よう	ぎけ	(庄内、最上)
ようがんす	ようごがいます	(庄内)
よがだ	ゆかた	(〃)
よぎ	雪	(〃)
よぐい	動く	(〃)
よぐれだ	ぬれた	(庄内、おきたま)
よさづる	やるす	(庄内、村山)
ラの部 らえさま	かみなりさま	(村山、おきたま)
らんさ	いっしょうけんめい	(庄内)
らんちもの	むてっぽうもの	(庄内、おきたま)
らんにかい	られない	(おきたま)
らんぼ	火そうば	(村山、おきたま)
リの部 りき	力	(庄内)
りご	かしこい	(庄内、最上、おきたま)
るの部	ありませんでした。	

方言

意味

地方

れの部

れっきした

リッパな

(おきたま)

れんが

ほうせんか (庄内、最上)

(「」の部、れの部は2こずつかきかた)

ろの部

ろくでね 良くない (庄内、おきたま)

ろくめん

ろくまい

(庄内)

ろくろ

ゆくり

(庄内、最上)

ろくんだい

悪い

(村山)

わの部

わ

君

(庄内)

わいり

悪い

(おきたま)

わがん

わからな

(最上、村山、おきたま)

わしのも

わすれもの

(庄内)

わっしょ

いたずら

(おきたま)

わわ

早く

(村山、おきたま)

んの部

ん

はん

(庄内、最上、村山、おきたま)

んがね

行ない

(...)

方言

意味

地方

んご

行く

(...)

んぢや

それなら

(村山、おきたま)

んだじゅ

そうです

(...)

んだなっす

そうですね

(...)

んたつたえ

そうでございませう (最上)

んだんども

けれども

(庄内、おきたま)

(2) **各地域の方言のお話をテーマにとる**
(ももたろう)

置賜...甘木たけのさんから話してくれました。

むかしむかしあるところにじっちゃんおばあちゃんがすんでいただけ。ある日、じっちゃんが山さしはかりにいったけど、おばあちゃんはおりにせんたくきいたけどおばあちゃんはおりにせんたくをしていると、11かみの方から、おきなももたごいさかえきたけど、

「あら...ずいぶんおきなももたごいさかえ、もってかえってじっちゃん食べんべし」

おばあちゃん「どこらしゃももたごいさかえってうさかえってきたけど、」

「うたいま」

「ようぽごもよってからじっちゃんがたまげてこれにはたがたおきなももたごいさかえ食べんべし」

じっちゃん「おばあちゃん、おきなももたごいさかえ、はうくりにつにわれて

なかから「おきあおきあ」と死なす男のおぼこい
てきたけど。おぼこのいねえじっちゃんばっちゃん
うれしかうてさ。おぼこに「ももたろう」と言う
名前をつけたんだ。

それはたいへんめんごがってそだてたんだと。ばっちゃん
のつくってくれたごちそうをしまくってももたろう
はかもちで、気のやさしい7年にふたで……。

みやこにわりえおにがいることもいっただと。

「わりい。おにだ。おれがたいいじしてける」

そこでじっちゃんばっちゃんももたろうにおにたいいじのし
たくをしてはっちゃんけど。そしてももたろうにきびだんご
をこしやてくれたけど。

「きつけていってこいよ」

じっちゃんばっちゃんにみおくらっちももたろうはでか
けていったけど。よっぽどいくと犬がそばきたけど。
ももたろうさこしきつたきびだんごをおれぎ
けんわが。

ももたろうにもらったきびだんごを犬はうまそうに
くってだけ。

「おやいにももたろうさんのけらいにしてけろよ」
ももたろうは犬をけらいにしておにがしまめざして山
みちもあるいていったけど。ちっぴったおにんじは
さるがきたけど。

ももたろうさんにしきつたきびだんごをおれさびとつけん
ねが。

ももたろうにもらったきびだんごをうめそうにくってだけ。

「おれもけらいにしてけろ」

てさるか。いったけど。犬とさるをおてもにつれてい
だていくと。きびだんごをきかんとできたけど。

ももたろうさんさきつたきびだんごをおれさびとつけん
ねが。

きじもももたろうからもらったきびだんごをうめそう
くってだけ。そうしてももたろうは犬さる。きじのきび
さおともにしておにがしまめざしてすすんでいったけど。
そして悪いおにをたいいじしたけど。

とうひんてい

きびだんご

「わがた」と言うことをあまえ、と言っていた。

「さいごに」したことで、言う言葉を話していたり

「そうだ」と言うことを「んだ」と言っていた。

最上…高山あき子

むかし、むかしあるところさ、じんちゃんとはんちゃんがい
だけど。ある日、じんちゃんはねあ、山さしばかりにいったけど。
はんちゃんはいへせんたくさいったけど。

はんちゃんがせんたくしてたら、川上からおっきなももか
どんぐらとどんぐらと流ってきたけど。

「あらあら、おっきなももだごど。たがってかえってじんちゃん
とたべっべかにやあ」

はんちゃんはどっかいしょとももをたがって、うちさ帰ってきで
じんちゃん帰ってくんちまてたけど。

「アス思うとじんちゃんが山から帰ってきたけど」

おっきなももちみて、じんちゃんはたまたまたつけど。

「おっきなももたなあ、さっそくくってみっか」

じんちゃんが「ほうちやうで、きつとももはぱくりわれて、

中から大きな男のんぼこがとびだしたけど。

んぼこのいねがった、じんちゃんとはんちゃんはよろこんでさっ
くんぼこに、ももからうまったさげももたらうとつけだなあ

ど。だいにしてにあ、まなはんかいっぱいかしえて

はやくおっきなれとそだてたんだと。

ほげしているうち、たちまちおっきななつたんだと。

みやこにわるいおにがいることきてももたらうは、

わるいおにだ。おれがたいじしてけさげてなあ

じんちゃんとはんちゃんはももたらうにおにたいじのしたを

してけてきみだんに、そこしえてけつてそれまたしえてけで

「きつていてこいね」

ていってじんちゃんとはんちゃんにみおくらって ももたらうは

ではあてったけど。

あこしいぐじ犬がよってきて

「ももたらうさん、こしきつたものなんだべ」

「きみだんごだ」

「おれさーつけねがや」

犬かきもらってよろこんで、けらになつていったけど。

もすこしいたらこんどは、さるかててきたけど。

さるも

「ももたらうさん、こしきつたものなんだべ」

「きみだんごだ」

「おれさーつけねがや」

さるもきみだんごもらってよろこんで、けらになつていったけど。

ほしてまだすこしいぐじきすがててきたけど。

「ももたらうさん、こしきつたものなんだべ」

「きみだんごだ」

「おれさーつけねがや」

そしてよろこんで、けらになつてついでいったけど。

ほして犬さるきじの三びきをけらになつておにがしまさ

いったけど。いったらわるいおにだすいっぺいいいい、みな

たいじしておみやげいっぺいもらってきたけど。

もんびん、すっかん、ないけどは。

きつたこと

「そうだね」と言うことせんだにやあ、と言う

「さいこ、ねあ、と言うおきなもも使う」

(1)

村山... 近藤のぶこさんから話してくれました。

おがし もがし あるごころさじんつあとはんつあが
くらしでいたけど。あるひじんつあは山さすはかり
にはんつあは川だへんたくにいったけど。

ばんつあが川でへんたくしていって川上の方からどんうら
こ... おっけなももがなからてきたけど。

「おやおやなんとおっけなももたごど。ひろっえさも
てっじんつあしたべっかなあ」

ばんつあはどっころしよももをだいてうちさもってかえっ
てきたけど。

いまきたよ

もしはらくするとしんつあは山からかえってきたけど。

おっけな... ももをみてじんつあはたまげていた
けど。

「それ はたまげた たまげた おっけなももじゃ
わらわら たべっや」

としんつあがほえじょうできってみよもも
はまっくりわれて中からおぎゃあおぎゃあ

と大きなおしこのおほこがとびでてきたけど
こどものおいふじんつあとしんつあおよろこんで

すいおほこにももたろうという名前をつけたんだぞ。
そしてだいじにそだてたんだぞ。ばんつあわらて

けだごっつおうをすだまくてももたろうは力あつ
きもちのやさしいこどもになったぞ。

みやくにわるいおにかいたごころをきいたももた
ろうは

「やういおにだぼくがやっつけてやる」

そしてじんつあとしんつあがももたろうにおた いじ
のしたくをしてやっつけたぞ。

そしてももたろうはきびだんごをあずけて

「きづけていくんだよ」

としんつあとしんつあにみおくれでももたろうはでか
けていったけど。しばらくすって大がくついでさて
「ももたろうさん... おこしにつけたきびだんご一つ

おれちゃんねが」
ももたろうにももたろうのきびだんごを大はうまそうにく

ったけど。おれいにももたろうのけららになおたけじ。
ももたろうは犬をけららにしておたがしまめさして

出みちを赤いていったけど。すこしいびきできびだ
るが、おさて

「ももたろうさん... おこしにつけたきびだんご一つ
おれちゃんねが」

といったので、またももたろうはさるにきびだんごを
わけていったけど。

さるはうまそうにくってからおれいにももたろうの
けららになおたけじ。ももたろうは犬をけららにし

てまた出みちをいったけど。ももたろうのたちがおにか
しまめがけておにかわをくだっていったらケーンケ

ンときびがきたけど。

「ももたろうさん... おこしにつけたきびだんご一
つおれちゃんねが」

きびはももたろうにももたろうのきびだんごをうまそうにく
ったけど。おれいにももたろうのけららになおたけじ。

そしてももたろうは犬をけららにしておたがしまめさしてす
すんでいったけど。そしてわるいおたをやっつけたんだぞ。

とうびんすかんになんはみそ

村山

きづいたこと

。せんたくもへんだしって言う

。家も"え"って言う

。早くと言うに"え"をわらわらって言う

庄内... ももせつね

むかしあつたの、あるところさおじいさんとおばあさんが
いたけど、ある日おじいさん、山さしばかりに行くと
いつたけど、そしておばあさんは川へんだしって行つた
けど、へんだししてたれば、川の上の方からおじいさん
も流ってきたけど、おづさまみだしなもも。おばあさん

ヒツクリして

「おっちゃんもまたごでこっちゃんおいでおいで、
ももごよんごよんうらごよんうらごよんうらごよんうら
たももごよんごよんうらごよんうらごよんうらごよんうら
えさもってただけで

「ああ重い」

し言て7かたすみだば

「ただいま」し言てきたけど

「おっちゃんもまたごでこっちゃんおいでおいで、

おじいさんが

「おいそうなるももたごで、井かわげして食べよう」

ほつちようでわらわらおおきな男のうまれきたけど

そしておきおき男のうまれこつたりして、

はだかのこどもいねんかわいおほいさけでももたらう

しつけだけとおじいさんとおばあさんどだいじに育て

てももたらうおきくすよって

「さびだんこつてくれ、おにかしまさおにどこたい

いに行くおげ

し言うけど、そしておじいさんとおばあさんときびだんこ

つて、ももたらうごよん、そしてすばらしいごよんきたけど

ももたらうさんきびだんこつたごよん

「はいわたしのけらいになつてくれたさ」

し言うけど、大けらいになつて、すばらしいおたらばさるきたけど

「ももたらうさんきびだんこつたごよん

うて言うけど、

そしてさる さもきでだんごく入れてさるもけらんに
なあっていったと。少しいったば三んどきじさたけとさじ
も

「ももたろうさんきでだんごくください。」

そしてさもきでだんごきさもく入れてけらんになあってさもき
けらんになあっていったと。そしておにがしままでい
っておにたいいしよと鬼でさるさじ三んどきいって
けらんになあっていったと。そしてふねさのっておにがしま
さいったとさじはせんとおにがしまさいておにが

ミチエジ... ..豆頭つこして大はワシ... ..

おにとごこのへんかちばおにりしてさるもゲン... ..と

みんなでおにたいいじしたじ。おんかかくて... ..

おにとせんとにけだも。そしてももたろうは刀でシユッ

と強いももたろうさなあってみんなとごおにとこたじし

てあとうちさ帰ってきたけと。おにまげたおなだと。

「あどわるいごでしねさけどうぞゆるしてください。」

ももたろうとおにとあやまってさるも

「あどわれごでしねさなと。」

とそう言ったけとおにと。あどわれごでしねはげ

おれたからものいっおにけさげ。と云ったけと。あどた

からものもらって帰っていったと。おとさるとさじと。

おには

「あどわれごでしねはげの。」

ってあめめたいめめたいと村の人さり帰っていった。

たからものいっおにもらっていったと。そして木さり帰って

おじいさんとおばあさんばろこんでみんなさたからもの分け

てけだもももたろう。ももたろうさんはやさしい人な

たと おわり

さついたごし

のさいごに"の"をよくつかう

。語リかけがおおかった。

村山(2) 小内やえ子

おがす... あるとこへよ。ずんつあてはんつあえ
だけと。おほこえねくて三人くらゐでえだけと。
ある日ずんつあが山へスバ木切り行ったけど。はんつあ
はリサへんだし行ったけど。はんつあがザブザブせん
たくしつたらば川かみの方からドンブラユ... と大き
なモモながれで来たけど。

「アワ-大きなモモだぞ。わらわらひろって早く家に
えってずんつあで食べっかな」

とよ... ころしよと家にもって行ったけど
すばらぐしたらずんつあが山からスバ木しよって
もどってきたけど。大けなモモ見て

「おえだて大けなモモだなやあ。早くくべッ
てゆつてホエジョウで切るかんじ。したらばはっくりとニ
つにわって中から男のおほこえまただけと。

おほこのえねがって二人はようぐんではモモの中から
んまれで来たんだもの。モモタロウしぬ前をついたけど
はしたえすにそででんだぞ。

はんつあの一しえでけるごつあもりもりくってカモづ
で風のやさしい子じもになったんだぞや。

ある日旅の人がきてみやうにえとないおにかきて
めんがふにいすわるいごとしてみやこのたから物み
なぬすんでえとときいて

「よしおれがおにたいじしてける」

と云ってずんつあてはんつあにたのんでおにたいじの
したくをしてもらってえとごときめてずんつあてはんつ
あはきびだんごをこしやえでけってほのきびだんご
はうしきな物で一つふて。カもりもりでるんだぞ。
きびだんごをかくろに入れてこしに下けてでいかけで
えったけど。しばらくえつたれば木がそよよきて

「モモタロウさん... とごてえいなや」

とぎいでみたらモモタロウは、

「おにかしまさおにたいじに」

と云って
おにたいじつけたものは何や

「日本一のきびだんごだ」

「フけんねがけらいになるから」

モモタロウは「おにこれはんまそうにうって水といっしに

しおらくぐつたれば今度はカシがかけよってきて

おんがすごいって今度はカシもけらいになてんつん
だぞ。またあしえつたれば今度はキジがとんできて

「モモタロウさん... おにこしにつけたもの何や」

「日本一のきびだんごだヨ」

「フおれにくださいおれいにけらいになるから」

いって、三びきをけらいにしておにかしましめ向かってえつ
たんだって。おにかしまにつくとカシはおにのしろにの

ぼりにお門をあけてモモタロウはおっけな声で

「それすめー」

いって大もカシも中へ入って行ったらおには子でもと大
くさるきじだけだとりだんしてだんだん大へす。

モモタロウたちはくる時食べたきびだんこのカがもりもりで

大はつんつんほえておににかみついてカシはキャリキャッお
にのソラカキバインてキジはケンケンおにの目をつ

いておにたちはキャリキャリ

「ギャッ... いったすけてケロ二度とわるいぞとすね」

モモタロウに害物をみせよこしたけどモモタロウたちは
車に害物をつみこんで木がいっぱいエンヤヤー

さるはあとおしエンヤヤーきじがこえかけエンヤヤー
とえつてきて村の人たちがすのよ木すにふたむサ

おわり

村山(2) 小内やえ子

おがす... あるとこへよ。ずんつあとはんつあえ
だけと。おほこえねくて三人くらゐでえだけと。
ある日ずんつあが山へスバ木切り行ったけど。はんつあ
は川へへだしく行ったけど。はんつあがザブザブせん
たくしったらば川かみの方からドンブラユ... と大き
なモモながれできたけど。

「ワア大きなモモだぞ。わらわらひろって早く家に
えってずんつあで食べっかな」

とよっらしよと家にもって行ったけど
すばらぐしたらずんつあが山からスバ木しよって
もどってきたけど。大きなモモ見て

「おえだて大ッけなモモだなやあ。早くくべッ
てゆつてホエジョウで切るかんじ。したらばはっくりと二
つにわって中から男のおほこえまただけと。
おほこのえねがって二人はよづくんではモモの中から
んまれできたんだもの。モモタロウしぬ前をついたけど
はしてたえすにそででんだぞ。

はんつあの一しえでけるごっつあもりもりくってカもづ
で風のやぎすい子じもになつたんだぞや。
ある日旅の人がきてみやうにえとないおにかきて
めんがふにいすわるいごとしてみやこのたから物み
なぬすんでえとときいて

「よしおれがおにたいじしてける」
と云ってずんつあとはんつあにたのんでおにたいじの
したくをしてもらってえとごときめてずんつあとはんつ
あはきびだんごをこしやえでけてはのきびだんご
はうしきな物で一つづつ。カもりもりでるんだぞ。
きびだんごをかくろに入れてこしに下けてでかけで
えったけど。しばらく経つたれば木がそはきて

「モモタロウさん... とごさえいなや」

とぎいでみたらモモタロウは、

「おにかしまさおにたいじに」

と云って
おこしたつけたものは何や

「日本一のきびだんごだ」

「フけんねがけらいになるから」

モモタロウは「おにこればんまそうにして水といっしに

しばらく経つたれば今度はカレがかけよってきて

おんがすごいって今度はカレもけらいになつてんた
んだぞ。またあしえつたれば今度はキジがとんできて

「モモタロウさん... おこしにつけたもの何や」

「日本一のきびだんごだぞ」

「フおれにくださいおれいにけらいになるから」

いって、三びきをけらいにしておにかしまへ向かってん
たんだって。おにかしまにつくとカレはおにのしろにの

ぼりにみ門をあけてモモタロウはおっけな声で

「それすめー」

いって大もカレも中へ入って行ったらおには子でもと大
くさるきじただけだとりだんしてだんだん大へす。

モモタロウたちはくる時食べたきびだんこのカがもりもりで

大はワンワンほえておににかみついてカレはキャキャお

にのシラカキハバてキジはケンケンおにの目をつ

いておにたちはキャーキャー

「ギャー... たすけてケロ二度とわるいぞとすね」

モモタロウに車物をみせよしたけどモモタロウたちは

車に車物をつみこんで木がいっぱいエンヤヤー

さるはあとおしエンヤヤーきじがこえかけエンヤヤー

と云ってきて村の人たちがすのよ木すにふたむサ

おわり

おづいにこと

の村山ではやっぱり早くのことおちらわらと言う

(3) 地方によってどのようにちがうか

共通語	おきたま	最上	村山	庄内
おじいさん	じっちゃん	じんちゃん	じんつあ	じいさん
おばあさん	ばっちゃん	ばんちゃん	ばんつあ	ばあさん
子ども	おほこ	んほこ	おほこ	おほこ
おおきな	おっきな	おっきな	おっけな	おっけな
せんだく	せんだく	さんだく	へんだく	へんだく
流れて	流っちゃん	流っで	流って	流って
食べよう	食んべ	食っかに	食べっかな	食っかの
おでろく	たまげた	たまげた	たまげた	たまげた
かわいい	めんこい	めんこい	めんがる	めんこえ
ごちそう	ごっつおう	ごっつおう	ごっつおう	ごっつおう
たんさん	しこたま	すこでま	たんちろう	すこたま
しばらく	よほど	少し	しばらく	少し
くたさ	けんわが	けんわが	けんわが	けんわが
おいしそう	うまそうに	うまそうに	うまそうに	うめえ

共通語	おきたま	反上	木山	庄内
しばかり	すばかり	すばかり	すばかり	すばかり
めでたし めでたし	とうびんと	とうびんすか ん、ないけは、なんばみえ	とうびんすかん	おわり

① 方言は地方によってにいました。
ちかうとてろもありました。じんち、
とても地方の味わいが感じます

石研究をまとめて、思ったこと!

- 4つの地方で にているものもあるし、ちかうも
- のもあった。
- ももたろうのむかし話ではそれぞれの地方の味わいがある。
- 一つの地方にしかないのもあったけれど、いくつかの地方の同じ方言もあった。
- 今では、使わない方言が多い。これは、どうしてだろうか。
- さいごに“んだこで”“ねあ”のう“な”などを使う
- 一文字の方言もあった。
- ぼくが使っている方言があった。
- 知っている方言もあった。
- ゆかしいな方言がいっぱいあった。

まとめ

- 方言は、共通語とまったくちがっている
と思っていたが、実さいには、にているものもあり
ました。

この研究をして思ったこと

- 共通語は、日本全国みんなに通じる言葉だから、
大切だ。方言は、その地方にしかわからない言葉
が多いけど、とても味わいがある。

ぼくは、この研究をして方言がよくわかって
おもしろい

1. 研究の動機

ぼくは山形県の方言について研究しました。
この石研究をしようと思ったのは、国語で方言の勉強をしたとき、その地方によっておもしろい言い方があることを知ったからです。そこで、まず、山形県にはどのような方言があるか、方言と共通語は、どちらがうかについて調べることにしました。

2. 研究の方法

石研究の方法は次の三つです。1つ目は、山形県の方言を調べ、50音順にまとめることです。2つ目は、山形県を4つの地方に分けて、それぞれの地方の方言を實さいに聞いてくることです。3つ目は、山形県の4つの地方と方言と共通語をくらべて、ちがいを調べることです。ここで山形県の4つの地方とは、村山地方、最上地方、庄内地方、置賜地方のことです。研究のため用意したものは、「山形県方言集」の本と、方言でのむかし話をとるテープレコーダーとテーブです。

3. 石研究の實さい

まず、山形県方言集という本をさんこうにして山形県の方言を50音の順番でまとめてみました。

次に4つの地方の方言によるむかし話は「ももたろう」でかたってもらいました

さいしょは置賜地方です。

(テーブ)

これは なんようの、甘木たけのさんから話してもらいました。

次に最上地方です。

(テーブ)

これは 新庄の、高山あき子さんから話してもらいました。
次に村山地方です

(テーブ)

これはおばなざわの近藤のぶ子さんから話してもらいました。
さいごに庄内地方です。

(テーブ)

これははぐろのももせつねさんから話してもらいました。
はじめの部分だけでもこのようなちがいがあります。それに「のう」とか「んだにゃあ」「んぞごで」など、その地方でくしくの言い方があります。
おばあさんたちのむかし話を聞いていると、とても味わいがあると思いました。

次は方言と共通語をくらべてみました。

「大きな」という共通語は、置賜では「おっきな」、村山では
「おっけな」、最上では「おっきな」、庄内では「おっけな」
というように大きいという言い方はとてもにています。
ずいぶんちがうのがあります。



置賜 甘木たけのさん

(73才)

村山近藤信子さん (63才)



村山近藤信子さん (63才)



最上 高山あき子さん